

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医学部 医学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 医学原論・医学原論演習	臨床経験を踏まえ予防接種の意義および健康管理について指導する。在宅医療に関する経験を踏まえ患者・家族の気持ちに寄り添う姿勢を解説する。研究所における生命科学研究経験を踏まえ研究者のプロフェッショナルリズムの意義を示す。企業・省庁における自然科学研究・実践を踏まえ、適切な観察と科学的意義を説明する。	齋藤 有紀子	【演習運営担当】 辻 尚利* 守屋 利佳* 亀山 孝三* 新井 雄太* 千葉 宏毅* 【八雲牧場実習担当：兼任】 寶示戸 雅之* 小笠原 英毅* 小野 泰* 森岡 愛* 山田 拓司* 庄司 勝義*	1	通年	3 単位	必修
2 生化学序説	臨床医経験や研究所勤務実績を踏まえ、臨床医学の発展に果たした生化学研究について概説する。	萬代 研二	萬代 研二* 岡田 大助*	1	前期	1 単位	必修
3 タンパク質化学	研究所での経験を踏まえ、創薬開発におけるタンパク質構造解析の重要性を概説する。	堺 隆一	堺 隆一* 板倉 誠* 河野 俊之* 白木原 琢哉*	1	後期	1 単位	必修
4 細胞生物学	基本的な細胞機能の異常・欠損は疾患と結びついており、臨床経験を踏まえ、細胞内小器官の意義、細胞膜の各種チャンネルの意義、細胞分化の意義から再生医学・再生療法について概説する。	岩淵 和也	岩淵 和也* 江島 耕二* 高橋 倫子* 宮下 俊之* 亀山 孝三* 板倉 誠* 梅澤 明弘* 堺 隆一*	1	前期	2 単位	必修
5 解剖・発生学 I	医師として学んできたことをベースに、解剖学として大切なことはもちろんのこと、各診療科において必要とされる臨床解剖学的知識を講義する。臨床医学に触れることにより、医学を学ぶモチベーションを高めるようにする。	小川 元之	小川 元之* 井上 優介* 勝村 啓史* 玉木 英明* 三浦 正明* 新井 雄太* 原 敏将*	1	後期	2 単位	必修
6 解剖・発生学 II	医師として学んできたことをベースに、特に産婦人科学および小児科学と関連した内容について講義する。臨床医学に触れることにより、医学を学ぶモチベーションを高めるようにする。	小川 元之	小川 元之* 勝村 啓史*	1	後期	1 単位	必修
7 実験動物学・実習	臨床を含めた実務経験を生かし、医学研究に必要な実験動物学の領域を中心に講義を進めている。	佐藤 俊哉	佐藤 俊哉* 大久保 直* 東 貞宏*	1	後期	1 単位	必修
8 代謝学	臨床医経験や研究所勤務実績を踏まえ、臨床医学の発展に果たした生化学研究について概説する。	萬代 研二	萬代 研二* 岡田 大助* 山森 早織* 石井 郁子*	1	後期	2 単位	必修
9 分子医化学実習	実習レポート作成要領の説明などに実務での報告書作成の経験を生かしている。	宮下 俊之・堺 隆一・萬代 研二	宮下 俊之* 堺 隆一* 萬代 研二* 板倉 誠* 岡田 大助* 亀山 孝三* 河野 俊之* 高山 吉永* 長尾 和右* 山森 早織* 石井 郁子* 白木原 琢哉*	1	後期	1 単位	必修
10 遺伝子学	臨床経験、研究所での研究歴を踏まえ、疾患との関連と最先端のトピックについて概説する。	宮下 俊之	宮下 俊之* 亀山 孝三* 高山 吉永* 長尾 和右*	1	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医学部 医学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
11 早期体験学習 I	医療者又は、コミュニケーションの専門家として、医師を目指すものが身につけるべき医療現場での学びに必要なスキルを指導する	守屋 利佳	守屋 利佳 * 千葉 宏毅 * 河村 晃依 (兼・医療衛生学部) * 青木 節子 (非・北里大学SP 研究会) * 西成 真琴 (循環器内科) * 小野沢 滋 (非・みその生活支援クリニック) *	1	通年	1 単位	必修
12 医療安全・管理学	臨床経験の豊富な医師として医療の安全と質の向上について具体的事例に基づいて講義をする。	渋谷 明隆	渋谷 明隆 * 鳥井 晋三 *	1	前期	1 単位	必修
13 実験動物学・実習	臨床を含めた実務経験を生かし、医学研究に必要な実験動物学の領域を中心に講義を進めている。	佐藤 俊哉	佐藤 俊哉 * 大久保 直 * 東 貞宏 *	2	前期	1 単位	必修
14 医化学・栄養学	臨床経験を踏まえ癌、糖尿病、内分泌疾患などの病態について概説する。	塚 隆一	塚 隆一 * 坂倉 誠 * 河野 俊之 *	2	前期	2 単位	必修
15 解剖学実習	医師として学んできたことをベースに、解剖学として大切なことはもちろんのこと、各診療科において大事な臨床解剖学的知識を説明する。臨床医学に触れることにより、医学を学ぶモチベーションを高めるようにする。	小川 元之	小川 元之 * 勝村 啓史 玉木 英明 三浦 正明 新井 雄太 山田 稔 (非)	2	前期	4 単位	必修
16 神経解剖学・実習	神経回路と神経機能を有機的に理解するために、中枢神経系の構造と神経回路に関する神経解剖学的知識を説明し、その破綻による神経機能障害に関して神経解剖学的観点から論理的に考えるための基礎的学力を身につけられるよう指導する。	阪上 洋行	阪上 洋行 * 深谷 昌弘 原 芳伸 菅原 健之	2	前期	1 単位	必修
17 組織学	実務経験を活かし、臨床医学の基礎となる、細胞レベルでの人体の諸器官の構造を解説するとともに、分子細胞生物学の最近の知見や構造の破綻による病気などの基礎知識も紹介する。	阪上 洋行	阪上 洋行 * 深谷 昌弘	2	前期	2 単位	必修
18 組織学実習	人体各器官の組織標本を顕微鏡で観察し、組織学講義で修得した内容を更に具体的な形で体得してもらう。	阪上 洋行	阪上 洋行 * 深谷 昌弘 原 芳伸 菅原 健之	2	前期	1 単位	必修
19 生理学	診療経験を踏まえ人体の生理現象と調節機構について概説する。	川上 倫・高橋 倫子	川上 倫 * 高橋 倫子 * 比留間 弘美 * 佐藤 亮平 安岡 有紀子 畠山 裕康 福田 英一 竹内 昭博 (非) * 島田 純一 (非) * 片倉 隆 (非) 日下部 辰三 (非)	2	前期	5 単位	必修
20 生理学実習	臨床経験を踏まえ生理現象の計測や解釈に関する実習を行う。	川上 倫・高橋 倫子	川上 倫 * 高橋 倫子 * 比留間 弘美 * 秋田 久直 (兼) 佐藤 亮平 安岡 有紀子 畠山 裕康 福田 英一 島田 純一 (非) * 杉江 秀明 (非) 片倉 隆 (非) 竹内 昭博 * (非)	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
21 薬理学総論	臨床的知識を踏まえ生体内の役割とそれらに影響を与える治療薬について説明する。	馬嶋 正隆	馬嶋 正隆* 熊谷 雄治* 天野 英樹* 伊藤 義也* 畑中 公	2	前期	2 単位	必修
22 薬理学実習	臨床的知識を踏まえ感染症の原因となる微生物、将来の感染症診療に必要な内容を説明する。	馬嶋 正隆	馬嶋 正隆* 熊谷 雄治* 天野 英樹* 伊藤 義也* 畑中 公 細野 加奈子 藤田 朋恵(非) 林 泉(非) 栗林 義和(非) 永嶋 義直(非) 高橋 亮(非)	2	後期	1 単位	必修
23 微生物学総論・実習	臨床経験および研究所等における業務を踏まえ、感染症診療のために必要な微生物学の知識を解説する。	林 俊治	林 俊治* 阪口 義彦 武 晃 北里 英郎(兼)* 伊藤 道子(兼)* 片山 和彦(兼)* 久保田 孝一(非) 久米 光(非)	2	後期	1 単位	必修
24 病理学総論	日常の病理診断業務の経験を生かして、様々な疾患の病理学的特徴を総論的に説明する。	三枝 信・ 村雲芳樹	三枝 信* 村雲 芳樹* 吉田 功* 梶田 咲美乃* 一戸 昌明* 松本 俊英 信田 昭子 桜井 靖高 犬飼 円* 秋谷 昌史* 加藤 琢哉 眞山 到* 栃本 昌孝 佐藤 雄一(兼) 土屋 紅緒(兼) 桑尾 定仁(客員教授) 村上 繁雄(非)	2	後期	1 単位	必修
25 病理学総論実習	日常の病理診断業務の経験を生かして、様々な疾患の病理学的特徴を総論的に実習する。	三枝 信・ 村雲芳樹	三枝 信* 村雲 芳樹* 吉田 功* 梶田 咲美乃* 一戸 昌明* 松本 俊英 信田 昭子 桜井 靖高 犬飼 円* 秋谷 昌史* 加藤 琢哉 眞山 到* 栃本 昌孝 佐藤 雄一(兼) 土屋 紅緒(兼) 桑尾 定仁(客員教授) 村上 繁雄(非)	2	後期	1 単位	必修
26 免疫学総論・実習	臨床経験・臨床治験の経験を踏まえ、免疫不全に対する骨髄移植療法・がんに対する免疫チェックポイント阻害療法・臓器移植療法について概説する。	岩淵 和也	岩淵 和也* 江島 耕二 竹内 恵美子* 佐藤 雅* 玉内 秀一(非)	2	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
27 寄生虫学・熱帯医学	アフリカでの医療活動を踏まえ感染症の実態を解説している。	辻 尚利	辻 尚利 * 八田 岳士 坪川 大悟 北 潔 (客員教授) 中村 健 (非)	2	後期	1 単位	必修
28 臨床遺伝学	臨床経験、研究所での研究歴を踏まえ、先天性疾患の診断と治療のトピックについて概説する。	宮下 俊之	宮下 俊之 * 高田 史男 (兼) * 亀山 孝三 * 高山 吉永 長尾 和右 * 太田 悦朗 (兼) 久松 知子 (兼) * 安本 龍馬 (兼) * 北川 季子 (兼) * 奥山 虎之 (非) *	2	後期	1 単位	必修
29 医学研究入門 I	臨床経験、臨床研究の実務から得られた経験に基づき、臨床研究で求められる事項の解説、解決の手法を解説する。	熊谷 雄治	熊谷 雄治 * 大久保 直 亀山 孝三 蓮沼 智子 * 天野 英樹 * 守屋 利佳 * 渡邊 達也 伊藤 義也 *	2	後期	1 単位	必修
30 早期体験学習 II	医療者または、倫理、法哲学の専門家、コミュニケーションの専門家として、学生に社会や医療の理解を促し、コミュニケーション能力の伸長を図る。	守屋 利佳	守屋 利佳 * 千葉 宏毅 * 齋藤 有紀子 (医学原論教育部門) * 坂東 由紀 (小児科学) * 青木 節子 (非・北里大学SP 研究会) * 左右田 哲 (兼) * 竹中 留美 (兼) *	2	後期	4 単位	必修
31 行動科学・医療面接	地域医療および大学病院臨床業務、臨床心理士業務経験を踏まえ、行動変容に必要な知識、その実践の基礎となる医療面接技法について教授する。	堤 明純	堤 明純 * 守屋 利佳 * 千葉 宏毅 井上 彰臣 * 島津 明人 (非) 青木 節子 (非)	2	後期	1 単位	必修
32 循環器系	臨床経験を踏まえ、循環器系疾患の病態を理解するために必要な、基礎的知識を習得することを目標に説明する。	阿古 潤哉	小川 元之 * 青山 直善 * 熊谷 雄治 * 竹内 康雄 * 鳥井 晋造 * 高橋 倫子 * 庭野 慎一 * 下浜 孝郎 * 美島 利昭 * 目黒 健太郎 * 黒田 博紀 * 伊藤 義也 * 島山 裕康 * 一戸 昌明 * 齊木 宏文 * 櫻井 靖高 東條 美奈子 (兼) *	2	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
33 神経系	臨床経験を活かして神経系を理解することが聴講する学生の将来に如何に結びつくかを解説する。	西山 和利	西山 和利 * 馬嶋 正隆 * 天野 英樹 * 伊藤 義也 * 岡田 大助 * 細野 加奈子 * 犬飼 円 * 片倉 隆 (非) 島田 純一 (非) 柳下 三郎 (非)	2	後期	2 単位	必修
34 呼吸器系	臨床現場での経験を踏まえ、呼吸器臨床に真に役立つ基礎的な呼吸器系の構造、機能を概説する。	猶木 克彦	猶木 克彦 * 佐藤 之俊 * 岡本 浩嗣 * 新井 雄太 * 天野 英樹 * 井川 聡 * 福井 朋也 * 新井 正康 * 日吉 康弘 * 梶田 咲美乃 * 加藤 琢哉 * 蔭 世旭 (客員教授) * 久保田 勝 (兼) * 横場 正典 (兼) * 片桐 真人 (兼) * 三藤 久 (兼) * 龍華 慎一郎 (非) *	2	後期	2 単位	必修
35 生殖機能妊娠分娩系	臨床経験をも踏まえ、解剖、発生、病態生理、病理などにつき概説する。	海野 信也・恩田 貴志	海野 信也 * 恩田 貴志 * 吉野 修 * 齋藤 有紀子 * 西 盛宏 * 梶田 咲美乃 * 松本 俊英 * 信太 昭子 * 石川 雅一 (非) * 角田 新平 (非) * 酒井 康弘 (非) *	2	後期	1 単位	必修
36 東洋医学	日本東洋医学会認定漢方専門医としての臨床経験を踏まえて、漢方医学の必要性、西洋医学との違い、診断、治療法、鍼灸治療、生薬の現状等について概説するとともに、実習を行う。	小田口 浩	小田口 浩 * 鈴木 邦彦 * 星野 卓之 * 花輪 壽彦 * 五野 由佳理 * 伊藤 剛 (非) * 小林 義典 (兼) *	2	後期	1 単位	必修
37 消化器系	医師として地域医療の診療経験を踏まえ、上・下部消化管と肝・胆・膵の各臓器の正常構造及びその機能や各消化器疾患における病態について概説する。	小泉 和三郎	小泉 和三郎 * 木田 光広 * 三枝 信 * 林 俊治 * 馬嶋 正隆 * 渋谷 明隆 * 吉田 功 * 渡邊 真彰 * 江島 耕二 * 日高 央 * 小林 清典 * 戸 昌明 * 新井 雄太 * 安岡 有紀子 * 小山 浩一 * 松本 俊英 * 市川 尊文 (非) *	3	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
38 血液造血管系	医師としての臨床経験を踏まえ、造血管系の成り立ちおよび異常に伴う疾患の実際について概説する。	鈴木 隆浩	鈴木 隆浩 * 宮崎 浩二 * 塚 隆一 * 吉田 功 * 斎藤 有紀子 * 堀江 良一 (兼) * 翁 祖誠 * 鎌田 浩稔 * 石田 隆 * 堀米 佑一 *	3	前期	1 単位	必修
39 内分泌・代謝系	臨床経験を踏まえ、内分泌疾患の病態生理がどのようにして症状や所見に反映されるかを解説する。	七里 眞義	七里 眞義 * 三浦 正明 * 梶田 咲美乃 * 高橋 倫子 * 遠藤 仁 (客員教授) * 岡田 大助 * 板倉 誠 * 天野 英樹 *	3	前期	1 単位	必修
40 運動器系	臨床経験、基礎研究経験をふまえ、運動器の正常と異常、運動器の役割、運動器の異常や疾患の治療について概説するとともに、手術や処置について述べる。	高相 晶士	高相 晶士 * 馬嶋 正隆 * 内山 勝文 * 板倉 誠 * 佐藤 亮平 * 一戸 昌明 * 内田 健太郎 * 櫻井 靖高 *	3	前期	1 単位	必修
41 腎尿路系	臨床経験を踏まえ腎疾患の系統的診断手順及び腎疾患の治療法につ入れてて概説する。	竹内 康雄	竹内 康雄 * 坂本 尚登 * 馬嶋 正隆 * 長場 泰 * 松本 和将 * 西 盛宏 * 青山 東五 * 津村 秀康 * 昆 伸也 * 秋谷 昌史 *	3	前期	1 単位	必修
42 腫瘍系	臨床経験を踏まえて全身諸臓器の腫瘍の発生・診断・治療・予防について講義する。	三枝 信	宮下 俊之 * 堤 明純 * 狩野 有作 * 金井 昭文 * 石山 博條 * 天野 英樹 * 宮地 英雄 * 高山 吉永 * 梶田 咲美乃 * 犬飼 円 * 蔭 世旭 (客員教授) * 北里 英郎 (兼) * 病理学担当者	3	前期	2 単位	必修
43 医療安全・管理学	医師として、または弁護士として、医療の安全と質の向上について具体的事例に基づいて講義をする。	渋谷 明隆	渋谷 明隆 * 鳥井 晋三 * 今戸 智恵 (非) * 斐 英珠 (非) *	3	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
44 感染症・免疫系診 断・治療学	臨床経験を踏まえ、学生がこれまで学んだ基礎知識を診断学・治療学へ結びつけて理解できるように感染症・免疫疾患の診療を概説する。	山岡 邦宏	山岡 邦宏 * 林 俊治 * 田中 住明 * 有沼 良幸 * 和田 達彦 * 東野 俊洋 * 星山 隆行 * 高山 陽子 * 一戸 昌明 * 廣畑 俊成 (客員教 授) * 岡田 純 (兼) * 狩野 繁之 (非) * 石川 章 (非) * 久米 光 (非) * 永井 立夫 (非) *	3	前期	2 単位	必修
45 循環器系診断・治療 学	臨床経験を踏まえ、循環器系疾患の病態を理解するために必要な基礎的項目、すなわち正常の調節機構とそこに生ずる病的な機転について概説する。	阿古 潤哉	阿古 潤哉 * 猪又 孝元 * 井上 優介 * 鳥井 晋造 * 宮地 鑑 * 青山 直善 * 先崎 秀明 * 庭野 慎一 * 北村 律 * 小坂橋 俊美 * 下浜 孝郎 * 目黒 健太郎 * 田中 住明 * 野田 千春 * 深谷 英平 * 南 尚賢 * 美島 利昭 * 前川 恵美 * 佐藤 伸洋 * 東條 羊奈子 (兼)	3	前期	4 単位	必修
46 呼吸器系診断・治療 学	臨床現場での実践を踏まえ、呼吸器疾患の診断・治療に必須である診断学・治療学を概説する。	猶木 克彦	猶木 克彦 * 佐藤 之俊 * 佐々木 治一郎 * 井川 聡 * 福井 朋也 * 笠島 真志 * 神谷 紀輝 * 久保田 勝 (兼) * 片桐 真人 (兼) * 横場 正典 (兼) * 三藤 久 (兼) * 大内 基史 (非) * 龍華 慎一郎 (非) *	3	前期	2 単位	必修
47 行動科学・医療面 接	地域医療および大学病院臨床業務、臨床心理士業務経験を踏まえ、行動変容に必要な知識、その実践の基礎となる医療面接技法について教授する。	堤 明純	堤 明純 * 守屋 利佳 * 千葉 宏毅 * 井上 彰臣 * 島津 明人 (兼) * 青木 節子 (非) *	3	後期	1 単位	必修
48 腎尿路系診断・治療 学	臨床経験を踏まえ腎尿路系疾患の病態と治療法について概説する	岩村 正嗣	岩村 正嗣 * 竹内 康雄 * 坂本 尚登 * 守屋 達美 (兼) * 守屋 利佳 * 長場 泰 * 松本 和将 * 佐野 隆 * 藤田 哲夫 * 青山 東五 * 石井 大輔 * 田畑 健一 * 西 盛宏 * 平山 貴博 *	3	後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
49 神経系診断・治療学	脳神経内科や脳神経外科での臨床経験を踏まえて神経系疾患の臨床や治療について概説する。	西山 和利	西山 和利 * 飯塚 高浩 * 阿久津 二夫 * 北村 英二 * 永井 真貴子 * 隈部 俊宏 * 秀 拓一郎 * 佐藤 澄人 * 師田 信人 * 清水 暁 * 小泉 寛之 * 山本 大輔 *	3	後期	3 単位	必修
50 消化器系診断・治療学	臨床経験を踏まえ、上・下部消化管と肝・胆・膵の各臓器の病態、診断、治療を説明する。	比企 直樹	佐藤 武郎 * 日高 央 * 國分 茂博 * 小泉 和三郎 * 中村 隆俊 * 石井 良幸 * 木田 光広 * 横山 薫 * 久保田 美和 * 海津 貴史 * 田島 弘 * 田中 賢明 * 田邊 聡 * 渋谷 明隆 * 隈元 雄介 * 小林 清典 * 今泉 弘 * 五十嵐 正広 * 渡邊 真彰 * 東 瑞智 * 奥脇 興介 * 比企 直樹 * 山下 継史 * 内藤 正規 * 堅田 親利 * 村上 匡人 * 松永 敬二 * 細田 桂 *	3	後期	4 単位	必修
51 血液造血器系診断・治療学	医師としての臨床経験を踏まえ、造血器系異常に伴う各種疾患の臨床病態・診断および化学療法を中心とする治療の実際について概説する。	鈴木 隆浩	鈴木 隆浩 * 宮崎 浩二 * 田寺 範行 * 堀米 佑一 * 道下 雄介 * 大坂 学 * 木村 裕和 *	3	後期	1 単位	必修
52 内分泌・代謝系診断・治療学	臨床経験を踏まえ、内分泌代謝疾患の診断方法、特徴的な内分泌検査や負荷試験方法とその評価方法を概説し、また各種疾患に対して、臨床の現場でどのような手順で治療が行われているかを解説する。	七里 眞義	七里 眞義 * 高野 幸路 * 鎌田 裕二 * 市川 雷師 * 小川 顕史 * 鈴木 陽彦 * 土岐 卓也 * 藤田 哲夫 * 的場 健太 * 守屋 達美 (兼) * 松原 まどか (兼) * 齋藤 淳 (非) * 平井 法博 (非) *	3	後期	2 単位	必修



実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
53 成長発達系診断・治療学	基礎領域の知識と臨床の知識を関連付ける上で、豊富な実務経験を有する担当者が、その専門分野における病態生理と治療・予後を中心に解説する。	石倉 健司	石倉 健司 * 先崎 秀明 * 中西 秀彦 * 岩崎 俊之 * 中村 信也 * 釦持 学 * 野々田 豊 * 今井 純好 * 橘田 一輝 * 高梨 学 * 藤武 義人 * 安藤 寿 * 江波戸 孝輔 * 昆 信也 * 石井 正浩 (客員教授) * 仁志田 博司 (客員教授) * 高田 史男 (兼) * 柴山 啓子 (非) *	3	後期	3 単位	必修
54 運動器系診断・治療学	臨床経験をふまえ、運動器の正常と異常を述べ、診断方法を概説しさらに、治療方法について概説する。	高相 晶士	高相 晶士 * 井上 玄 * 内山 勝文 * 中澤 俊之 * 小沼 賢治 * 見目 智紀 * 岩瀬 大 * 助川 浩士 * 相川 淳 * 峰原 宏昌 * 高平 尚伸 (兼) *	3	後期	1 単位	必修
55 精神系診断・治療学	臨床経験および、司法、産業、行政等、医療との周辺領域における経験を踏まえ、精神医学の診断意義、精神医学の治療について概説する。	宮岡 等	宮岡 等 *・齋藤 正範 *・高橋 恵 *・宮地 英雄 *・新井 久稔 *・井上 勝夫 * 澤山 透 *・大石 智 *・天保 英明 *・廣岡 孝陽 *・朝倉 崇文 * 生地 新 (兼) *・田ヶ谷 浩邦 (兼) *・鈴木 睦二 (客)	3	後期	2 単位	必修
56 皮膚系診断・治療学	臨床経験を踏まえ、皮膚疾患の理解と同時に、他の分野の臨床医学、基礎医学の有機的統合をはかることを目的に説明する。	天羽 康之	天羽 康之 * 安藝 良一 * 藤村 響男 * 増澤 真実子 * 白井 京美 * 東儀 那津子 * 小原 宏哉 * 齋藤 恭子 * 高野 哲郎 *	3	後期	1 単位	必修
57 内科学総論	全身的な徴候に対する内科的な診療を実際の臨床経験を踏まえて、より実践的にどのようにアプローチして、どのように鑑別疾患をあげていくか、より具体的にPOST-CC OSCEを意識した解説をしていく。また、今後の人口動態を意識し、今後の地域診療や在宅診療の必要性について解説する。	青山 直善	青山 直善 * 田邊 聡 * 守屋 利佳 * 田中 住明 * 鎌田 裕二 * 大石 智 * 内藤 正吉 * 福井 朋也 * 目黒 健太郎 * 小野沢 滋 (非) * 臨床実習入門担当者 *	3	後期	6 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
58 外科学総論	臨床実務経験を踏まえ、現在の外科学発展の礎となった重要な事象を体系的に概説する。	隈元 雄介	隈元 雄介 * 菊池 史郎 * 中村 隆俊 * 桜本 信一 * 比企 直樹 * 海津 貴史 * 山本 裕輝 * 内藤 正規 * 田中 潔 * 加藤 弘 * 仙石 紀彦 * 内田 一徳 (非) *	3	後期	1 単位	必修
59 感染症・免疫系II	臨床経験を踏まえ、学生がこれまで学んだ基礎知識を診断学・治療学へ結びつけて理解できるように感染症・免疫疾患の診療を概説する。	山岡 邦宏	山岡 邦宏 * 林 俊治 * 一戸 昌明 * 和田 達彦 * 星山 隆行 * 高山 陽子 * 田中 住明 * 有沼 良幸 * 東野 俊洋 * 岡田 純 (兼) * 廣畑 俊成 (客員教授) * 永井 立夫 (非) * 久米 光 (非) * 狩野 繁之 (非) * 石川 章 (非) *	4	後期	2 単位	必修
60 神経系II	脳神経内科や脳神経外科での臨床経験を踏まえて神経系疾患の臨床や治療について概説する。	西山 和利	西山 和利 * 飯塚 高浩 * 北村 英二 * 阿久津 二夫 * 永井 真貴子 * 隈部 俊宏 * 佐藤 澄人 * 師田 信人 * 小泉 寛之 * 秀 拓一郎 * 山本 大輔 * 清水 暁 *	4	前期	3 単位	必修
61 消化器系II	臨床経験を踏まえ、上・下部消化管と肝・胆・膵の各臓器の病態、診断、治療を説明する。	比企 直樹	比企 直樹 * 佐藤 武郎 * 渋谷 明隆 * 細田 桂 * 山下 継史 * 海津 貴史 * 内藤 正規 * 小泉 和三郎 * 久保田 美和 * 石井 良幸 * 田邊 聡 * 田中 賢明 * 村上 匡人 (非) * 國分 茂博 (非) * 東 瑞智 * 横山 薫 * 小林 清典 * 奥脇 興介 * 日高 央 * 田島 弘 * 木田 光広 * 土橋 健 (非) * 隈元 雄介 * 中村 隆俊 * 堅田 親利 * 岩井 知久 * 渡邊 真彰 * 松永 敬二 * 今泉 弘 (非) * 五十嵐 正広 (客員教授) *	4	前期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
62 循環器系II	臨床経験を踏まえ、循環器系疾患の病態を理解するために必要な基礎的項目、すなわち正常の調節機構とそこに生ずる病的な機転について概説する。	阿古 潤哉	阿古 潤哉 * 猪又 孝元 * 庭野 慎一 * 下浜 孝郎 * 野田 千春 * 目黒 健太郎 * 小坂橋 俊美 * 深谷 英平 * 南 尚賢 * 前川 恵美 * 井上 優介 * 青山 直善 * 先崎 秀明 * 鳥井 晋造 * 宮地 鑑 * 北村 律 * 田中 住明 * 佐藤 伸洋 * 東條 美奈子 (兼)	4	前期	4 単位	必修
63 血液・造血管系II	医師としての臨床経験を踏まえ、造血管系異常に伴う各種疾患の臨床病態・診断および化学療法を中心とする治療の実際について概説する。	鈴木 隆浩	鈴木 隆浩 * 宮崎 浩二 * 鎌田 浩稔 * 田寺 範行 * 石田 隆 * 堀米 佑一 * 道下 雄介 * 大坂 学 * 木村 裕和 *	4	後期	1 単位	必修
64 呼吸器系II	臨床現場での実践を踏まえ、呼吸器疾患の診断・治療に必須である診断学・治療学を概説する。	猶木 克彦	猶木 克彦 * 佐藤 之俊 * 佐々木 治一郎 * 井川 聡 * 福井 朋也 * 神谷 紀輝 * 久保田 勝 (兼) * 横場 正典 (兼) * 片桐 真人 (兼) * 三藤 久 (兼) * 矢那瀬 信雄 (名誉教授) * 大内 基史 (非) * 龍華 慎一郎 (非)	4	前期	2 単位	必修
65 運動器系II	臨床経験をふまえ、運動器の正常と異常を述べ、診断方法を概説しさらに、治療方法について概説する。さらにふみ込み、整形外科学の保存療法と外科的治療法について概説する。	高相 晶士	高相 晶士 * 井上 玄 * 内山 勝文 * 小沼 賢治 * 中澤 俊之 * 峰原 宏昌 * 見目 智紀 * 助川 浩士 * 相川 淳 * 岩瀬 大 * 高平 尚伸 (兼) *	4	前期	1 単位	必修
66 内分泌・代謝系II	臨床の経験を踏まえ、内分泌代謝疾患の病因や病態生理について解説する。	七里 眞義	七里 眞義 * 高野 幸路 * 鎌田 裕二 * 市川 雷師 * 小川 顕史 * 鈴木 陽彦 * 土岐 卓也 * 藤田 哲夫 * 的場 健太 * 守屋 達美 (兼) * 松原 まどか (兼) * 齋藤 淳 (非) * 平井 法博 (非) *	4	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
67 成長・発達系II	5年次の臨床実習を控え、臨床知識を深く掘り下げ、更なる幅広い知識の習得を目指す。臨床上の興味を学生に認識させるため、各専門分野における臨床経験を踏まえて解説する。	石倉 健司	石倉 健司* 先崎 秀明* 中西 秀彦* 岩崎 俊之* 釧持 学* 中村 信也* 野々田 豊* 橋田 一輝* 高梨 学* 安藤 寿* 江波戸 孝輔* 今井 純好* 昆 信也* 石井 正浩(客員教授)* 高田 史男(兼)* 細田 のぞみ(非)* 柴山 啓子(非)* 藤吉 善人*	4	後期	3 単位	必修
68 生殖機能・妊娠分娩系II	臨床経験を踏まえ、産婦人科特有な症候論、検査法、各種疾患や妊娠・分娩、新生児の生理につき概説する。	海野 信也・恩田 貴志	海野 信也* 恩田 貴志* 吉野 修* 岩瀬 春子* 望月 純子* 金井 雄二* 高田 恭臣* 早田 格* 天野 完(客員教授)* 上坊 敏子(客員教授)* 石川 雅一(非)* 魚田 新平(非)*	4	後期	3 単位	必修
69 腎・尿路系II	臨床経験を踏まえ腎尿路系疾患の病態と治療法について概説する。	岩村 正嗣	岩村 正嗣* 竹内 康雄* 坂本 尚登* 吉田 一成* 守屋 達美(兼)* 守屋 利佳* 長場 泰* 松本 和将* 佐野 隆* 藤田 哲夫* 青山 東五* 石井 大輔* 田畑 健一* 西 盛宏* 平山 貴博*	4	後期	2 単位	必修
70 法医学系	法医解剖経験、病院勤務経験をもとに、実際の症例を用いて、医学部生にわかりやすい講義を行っている。	佐藤 文子	佐藤 文子* 入江 渉* 村上 千香子* 佐々木 千寿子* 藤田 眞幸(非)* 網干 博文(非)* 大澤 資樹(非)*	4	前期	2 単位	必修
71 予防医学系	地域医療および臨床心理の臨床経験、産業医実務経験、地域における環境問題の疫学調査、大学病院における医療管理経験を踏まえ、地域医療、産業保健、地域及び国の保健行政の意義・仕組み、保険、環境保健を含む予防医学全般について教授する。	堤明純・堀口兵剛	【衛生学】 堀口 兵剛* 岡田 充史* 星 佳芳(非)* 宮島 江里子* 大森 由紀* 【公衆衛生学】 堤 明純* 井上 彰臣* 江口 尚* 可知 悠子* 太田 寛* 川島 正敏* 【医療管理学】 渋谷 明隆*	4	前期	3 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医学部 医学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
72 画像・検査診断系	臨床医としての経験および中央診療部門の管理者としての経験をもとに、画像診断検査および臨床検査について、診療における位置づけや安全管理上の問題を含めた総合的講義を行っている。	井上 優介	【放射線科学】 井上 優介 * 原 敏将 * 原留 弘樹 * 松永 敬二 * 石山 博條 * 【臨床検査診断学】 狩野 有作 * 大谷 慎一 * 高山 陽子 * 高山 吉永	4	後期	1 単位	必修
73 精神系	臨床経験および、司法、産業、行政等、医療との周辺領域における経験を踏まえ、精神医学の診断意義、精神医学の治療について概説する。	宮岡 等	宮岡 等 * 齋藤 正範 * 高橋 恵 * 宮地 英雄 * 新井 久稔 * 井上 勝夫 * 澤山 透 * 大石 智 * 天保 英明 * 廣岡 孝陽 * 朝倉 崇文 * 生地 新 (兼) * 田ヶ谷 浩邦 (兼) * 鈴木 映二 (客員教授) *	4	後期	2 単位	必修
74 皮膚系	臨床経験を踏まえ、皮膚疾患の理解と同時に、他の分野の臨床医学、基礎医学の有機統合をはかることを目的に説明する。	天羽 康之	天羽 康之 * 安藝 良一 * 藤村 響男 * 増澤 真実子 * 白井 京美 * 東儀 那津子 * 小原 宏哉 * 齋藤 恭子 * 高野 哲郎 *	4	後期	1 単位	必修
75 視覚系	豊富な臨床経験を踏まえて、各疾患の特徴や診断に要する検査の意義及び現在行われている治療の効果と限界について概説する。	庄司 信行	庄司 信行 * 柳田 智彦 * 相澤 大輔 * 飯田 嘉彦 * 後関 利明 * 笠原 正行 * 佐藤 信之 * 石川 均 (兼) * 神谷 和孝 (兼) * 半田 知也 (兼) * 川守田 拓志 (兼) * 宇津 見義一 (非)	4	後期	1 単位	必修
76 耳鼻・咽喉・口腔系	臨床経験を踏まえ耳鼻咽喉科・頭頸部外科各領域の診断・治療・機能温存の意義などについて概説する。	山下 拓	山下 拓 * 長沼 英明 * 落合 敦 * 鈴木 立俊 * 清野 由輩 * 宮本 俊輔 * 栗岡 隆臣 * 古木 省吾 * 浮洲 龍太郎 * 佐野 肇 (兼) * 堀口 利之 (兼) *	4	後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
77 救急・侵襲医療系	臨床経験を踏まえ、救命救急医学では、救急診療の基本、過度の侵襲に対する診療、災害時の診療について概説する。 麻酔科学では、侵襲時の循環管理とモニタリング、侵襲時の呼吸管理とモニタリング、全身麻酔・区域麻酔、産科麻酔、ペインクリニックとがん性疼痛、周術期危機管理、集中治療医学について概説する。 形成外科・美容外科では、総論、先天性疾患、後天性疾患、美容外科について概説する。	岡本 浩嗣	岡本 浩嗣* 浅利 靖* 片岡 祐一* 中谷 研斗* 櫻見 文枝* 服部 潤* 金井 昭文* 新井 正康* 黒岩 政之* 戸田 雅也* 松田 弘美* 武田 啓* 根本 充* 石川 心介* 柏木 慎也* 杉本 孝之* 島倉 康人* 君塚 幸子* 塩谷 信幸 (名誉教授)*	4	後期	2 単位	必修
78 内科学総論	全身的な徴候に対する内科的な診療を実際の臨床経験を踏まえて、より実践的にどのようにアプローチして、どのように鑑別疾患をあげていくか、より具体的にPOST-CC OSCEを意識した解説をしていく。また、今後の人口動態を意識し、今後の地域診療や在宅診療の必要性について解説する。	青山 直善	青山 直善* 西山 和利* 鈴木 隆浩* 天羽 康之* 田邊 聡* 守屋 利佳* 田中 住明* 内藤 正吉* 鎌田 裕二* 大石 智* 福井 朋也* 小野沢 滋 (非) 臨床実習入門担当者*	4	後期	7 単位	必修
79 外科学総論	臨床実務経験を踏まえ、現在の外科学発展の礎となった重要な事象を体系的に概説する。	隈元 雄介	隈元 雄介* 仙石 紀彦* 菊池 史郎* 高橋 禎人* 加藤 弘* 三浦 啓寿* 山本 裕輝* 内田 一徳 (非)* 桜本 信一 (客員教授)* 牛久 秀樹* 田中 潔* 比企 直樹* 山梨 高広* 中村 隆俊* 海津 貴史* 内藤 正規*	4	前期	2 単位	必修
80 医療安全・管理学	医師として、または看護師として、医療の安全と質の向上について具体的事例に基づいて講義をする。	渋谷 明隆	渋谷 明隆* 今戸 智恵 (非)* 斐 英珠 (非)*	4	前期	1 単位	必修
81 老年医学	臨床経験を踏まえ、老年医学に関する老化・老年病の疫学、成因などの基礎的知識、加齢に伴う身体的変化、高齢者に特有な疾患・病態の診断と治療、介護、エンドオブライフケアに関わる考え方を概説する。	阿古 潤哉	西山 和利* 小野沢 滋 (非)*	4	前期	1 単位	必修
82 消化器内科実習	医師として地域医療の診療経験を踏まえ、消化器系、消化器系診断学で学んだ知識を臨床の場で実践できるよう指導する。	小泉 和三郎	小泉和三郎* (前半) 石戸 謙次* 川岸 加奈* (後半) 岩井 知久* 和田 尚久*	5	前期 後期	2 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医学部 医学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
83 循環器内科実習	臨床経験を踏まえ、循環器病学の基本的な症候、検査法、診法、治療法について、代表的疾患をできるかぎり実際に体験させ指導する。	阿古 潤哉	阿古 潤哉 * 下浜 孝郎 * 目黒 健太郎 *	5	前期 後期	2 単位	必修
84 脳神経内科実習	臨床経験を活かして脳神経内科実習をより理解しやすいものになるように工夫する。	西山 和利	西山 和利 * 永井真貴子 * 金子淳太郎 *	5	前期 後期	2 単位	必修
85 血液内科実習	実際に診療を行っている病棟に学生を配置し、実務業務を行う医師から直接学生に指導を行う。	鈴木 隆浩	鈴木 隆浩 * 鎌田 浩稔 * 翁 祖成 * 田寺 範行 * 堀米 佑一 * 道下 雄介 *	5	前期 後期	2 単位	必修
86 呼吸器内科実習	臨床現場での実践を踏まえ、呼吸器疾患患者さんの診断・治療の実際を習得する。	猶木 克彦	猶木 克彦 * 井川 聡 * 久保田 勝 *	5	前期 後期	2 単位	必修
87 内分泌代謝内科実習	臨床経験を踏まえ、内分泌代謝疾患の診断における身体所見の取り方について実習を行う。	七里 眞義	七里 眞義 * 市川 雷師 * 土岐 卓也 * 鈴木 陽彦 *	5	前期 後期	1 単位	必修
88 腎臓内科実習	臨床経験を踏まえ一般的腎疾患の鑑別診断、治療について実際の患者様の診ながら討論する。	竹内 康雄	竹内 康雄 * 佐野 隆 * 青山 東五 *	5	前期 後期	1 単位	必修
89 膠原病・感染内科実習	臨床経験と初期研修医の指導経験を活かし、学生がこれまで学んだ事を、ベッドサイドで確認や体験できるようにサポートする。	山岡 邦宏	山岡 邦宏 * 田中 住明 *	5	前期 後期	1 単位	必修
90 一般外科実習	臨床実務経験を踏まえ、臨床に即した実践的な実習を行う。	隈元 雄介	隈元 雄介 * 海津 貴史 * 西澤 伸恭 *	5	前期 後期	1 単位	必修
91 産婦人科実習	大学病院において、臨床経験を踏まえ、産婦人科各種疾患の診断、治療や妊娠・分娩、新生児の取扱いにつき指導する。	海野 信也・恩田 貴志	海野 信也 * 恩田 貴志 *	5	前期 後期	1 単位	必修
92 小児科実習	実務経験のある担当者が、臨床の現場で治療・療育の実際について指導する。	石倉 健司	石倉 健司 * 岩崎 俊之 * 江波戸 孝輔 * 高梨 学 *	5	前期 後期	1 単位	必修
93 衛生・公衆衛生実習	地域医療および産業医実務経験を踏まえ、地域医療、産業医実務、保健行政の意義・仕組み、予防活動について教授する。	堤明純・堀口兵剛	堤 明純 * 堀口 兵剛 * 武藤 剛 (衛生学) * 江口 尚 (公衆衛生学) *	5	前期 後期	1 単位	必修
94 臨床検査診断学実習	臨床経験に基づき臨床検査の意義および検査法を概説する。	狩野 有作	狩野 有作 * 大谷 慎一 *	5	前期 後期	1 単位	必修
95 救命救急医学実習	日々、搬送されてくる重症外傷、心停止、ショック、中毒などの患者の診療経験から、何を優先して治療を行うと救命率を上げ、後遺症発生を低減できるかをポイントとして講義を行なっている。	浅利 靖	浅利 靖 * 片岡 祐一 *	5	前期 後期	1 単位	必修
96 形成外科・美容外科実習	臨床経験を踏まえ、形成外科領域特有の診断および治療法について解説し指導を行う。	武田 啓	武田 啓 * 柏木 慎也 * 石川 心介 * 森山 和の *	5	前期 後期	1 単位	必修
97 呼吸器外科実習	臨床経験を踏まえ、呼吸器外科全体の理解が深まるよう指導する。	佐藤 之俊	佐藤 之俊 * 塩見 和 * 松井 啓夫 * 内藤 雅仁 *	5	前期 後期	1 単位	必修
98 心臓血管外科実習	臨床経験を踏まえ心臓血管外科手術の適応及び手術手技について概説する。	宮地 鑑	宮地 鑑 * 北村 律 (成人) *	5	前期 後期	1 単位	必修
99 脳神経外科実習	臨床経験を踏まえ、脳腫瘍治療について概説する。 臨床経験を踏まえ、機能的脳神経外科の意義及び深部脳刺激療法について概説する。	隈部 俊宏	隈部 俊宏 * 佐藤 澄人 *	5	前期 後期	1 単位	必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医学部 医学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
100 放射線科実習	臨床医としての経験をもとに、放射線診断および放射線治療の臨床利用について基盤的な教育を行っている。	井上 優介・石山博條	井上 優介 * 石山 博條 * 原 敏将 * 早田 格 *	5	前期 後期	1 単位	必修
101 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習	臨床経験をもとに、実臨床の診察法・治療法などにつき指導している。	山下 拓	山下 拓 * 細野 浩史 *	5	前期 後期	1 単位	必修
102 眼科実習	各担当者の臨床経験を踏まえた実践的な診察法や検査結果の解釈、治療への応用などについて実習する。	庄司 信行	庄司 信行 * 飯島 敬 *	5	前期 後期	1 単位	必修
103 整形外科実習	机学をふまえ、加えて実際の臨床経験をふまえ整形外科の実務の意義と保存・外科療法について概説する。	高相 晶士	高相 晶士 * 内山 勝文 *	5	前期 後期	1 単位	必修
104 泌尿器科実習	臨床経験を踏まえ実臨床に則した臨床実習を行う。	岩村 正嗣	岩村 正嗣 * 松本 和将 * 津村 秀康 *	5	前期 後期	1 単位	必修
105 皮膚科実習	臨床経験を踏まえ、皮膚疾患の理解と同時に、他の分野の臨床医学・基礎医学の有機統合をはかることを目的に指導する。	天羽 康之	天羽 康之 * 小原 宏哉 * 齋藤 恭子 *	5	前期 後期	1 単位	必修
106 精神科実習	臨床経験を踏まえ、精神医学の診断や治療のみならず、多職種連携を含めた理解が深まる実習を行う。	宮岡 等	宮岡 等 * 廣岡 孝陽 *	5	前期 後期	1 単位	必修
107 麻酔科実習	臨床経験を踏まえ、麻酔科学の基本である臨床麻酔の実践を経験させ、その上で多岐にわたる麻酔科医の仕事内容、その意義と重要性の理解を目的に指導する。	岡本 浩嗣	岡本 浩嗣 * 戸田 雅也 * 黒岩 政之 *	5	前期 後期	1 単位	必修
108 病理学臨床実習	臨床経験を踏まえ、治療方針を決定する上での病理診断の重要性を概説する。	三枝 信・村雲芳樹	村雲 芳樹 * 三枝 信 * 梶田 咲美乃 * 秋谷 昌史 *	5	前期 後期	1 単位	必修
109 総合診療医学実習	地域包括ケアシステムの必要性を説明し、地域診療や在宅診療を実際を体験してもらう。また、病院総合診療医として、内科的なあらゆる徴候に対応できるようにプロブレムリストをはじめ基本的な事項を解説して実施してもらっている。	青山 直善	青山 直善 *	5	前期 後期	1 単位	必修
110 消化器内科実習	医師として地域医療の診療経験を踏まえ、特に消化器系疾患の治療に重点を置き、より実践に即した知識を習得できるよう指導する。	小泉 和二郎	小泉 和二郎 * 堅田 親利 *	6	前期	3 単位	選択必修
111 循環器内科実習	臨床経験を踏まえ、循環器病学及び内科学における総合的な臨床的知識と技術、精神性の基本を身につける事を目標に指導する。	阿古 潤哉	阿古 潤哉 * 庭野 慎一 *	6	前期	3 単位	選択必修
112 脳神経内科実習	臨床経験を活かして脳神経内科実習をより実践的なものにし、卒業を目前にした学生の満足度を高める。	西山 和利	西山 和利 * 永井 真貴子 * 金子 淳太郎 *	6	前期	3 単位	選択必修
113 血液内科実習	実際に診療を行っている病棟に学生を配置し、実務業務を行う医師から直接学生に指導を行う。	鈴木 隆浩	鈴木 隆浩 * 鎌田 浩稔 * 翁 祖成 * 田寺 範行 * 堀米 佑一 * 道下 雄介 *	6	前期	3 単位	選択必修
114 呼吸器内科実習	臨床現場での実践を踏まえ、呼吸器疾患患者さんの診断・治療の実際、チーム医療の実際を習得する。	猶木 克彦	猶木 克彦 * 福井 朋也 *	6	前期	3 単位	選択必修
115 内分泌代謝内科実習	臨床経験を踏まえ、実際の患者診察を行い、内分泌代謝疾患の診断における身体所見の取り方について実習を行う。	七里 眞義	七里 眞義 * 鎌田 裕二 * 市川 雷師 *	6	前期	3 単位	選択必修



実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
116 腎臓内科実習	臨床経験を踏まえ多くの腎疾患の鑑別診断、治療について、患者様個別な病態、治療を討論する。	竹内 康雄	竹内 康雄* 佐野 隆(相模原病院群本病院 腎臓内科)* 長場 泰(北里メディカルセンター：KMC 腎臓内科)*	6	前期	3 単位	選択必修
117 膠原病・感染内科実習	臨床経験と初期研修医の指導経験を活かし、クリニカルクラークシップをコーディネートする。	山岡 邦宏	山岡 邦宏* 東野 俊洋*	6	前期	3 単位	選択必修
118 外科実習	臨床経験を踏まえ、病歴の聴取、理学所見、各種臨床検査の計画と検査手技、検査結果の評価、鑑別診断、治療方針の決定と具体的治療法(手術)術前術中術後管理、術後合併症と、その予防・診断・治療、予後などについて指導する。	比企 直樹	比企 直樹* 海津 貴史* 西澤 伸恭*	6	前期	3 単位	選択必修
119 産婦人科実習	大学病院および関連病院において、臨床経験を踏まえ、産婦人科各種疾患の診断、治療や妊娠・分娩、新生児の取扱いにつき指導する。	海野 信也・恩田 貴志	海野 信也* 恩田 貴志*	6	前期	3 単位	選択必修
120 小児科実習	実務経験のある担当者が細やかに指導することにより、5年次の実習よりもさらに深く、安全に臨床診療に参加する。	石倉 健司	石倉 健司* 岩崎 俊之* 江波 戸 孝輔* 高梨 学*	6	前期	3 単位	選択必修
121 公衆衛生実習	地域医療および臨床心理の臨床経験、産業医実務経験を踏まえ、地域医療、産業医実務、保健行政の意義・仕組み、予防活動について教授する。	堤 明純	堤 明純* 江口 尚* 井上 彰臣* 可知 悠子*	6	前期	3 単位	選択必修
122 臨床検査診断学実習	臨床経験に基づき臨床検査の意義および検査法を概説する。	狩野 有作	狩野 有作* 大谷 慎一*	6	前期	3 単位	選択必修
123 救命救急医学実習	実際の様々な救急患者の診療を横でみせながら、時間と勝負になる救命医療の現場での対応について概説し、何を優先すべきかを医学学生に自ら考えさせるように教育している。	浅利 靖	浅利 靖* 片岡 祐一*	6	前期	3 単位	選択必修
124 形成外科・美容外科実習	臨床経験を踏まえ、形成外科領域特有の診断および治療法について解説し指導を行う。	武田 啓	武田 啓* 柏木 慎也* 石川 心介* 森山 和の*	6	前期	3 単位	選択必修
125 心臓血管外科実習	臨床経験を踏まえ心臓血管外科手術の周術期管理について概説する。	宮地 鑑	宮地 鑑* 宮本 隆司* 北村 律* 美島 利昭*	6	前期	3 単位	選択必修
126 呼吸器外科実習	臨床経験を踏まえ、呼吸器外科全体の理解が深まるよう指導する。	佐藤 之俊	佐藤 之俊* 塩見 和* 松井 啓夫* 内藤 雅仁*	6	前期	3 単位	選択必修
127 脳神経外科実習	脳腫瘍治療、特に手術療法の実際を詳細に説明する。 深部脳刺激療法の実際を詳細に説明する。	隈部 俊宏	隈部 俊宏* 佐藤 澄人*	6	前期	3 単位	選択必修
128 放射線科実習：画像診断学実習	臨床医としての経験をもとに、診療現場における画像診断学について実践的な教育を行っている。	井上 優介	井上 優介* 原 敏将*	6	前期	3 単位	選択必修
129 放射線科実習：放射線腫瘍学実習	実際に臨床で使用している技術を学生に体験させる。	石山 博條	石山 博條* 早田 格*	6	前期	3 単位	選択必修
130 耳鼻咽喉科・頭頸部外科実習	臨床経験をもち、実臨床の診察法・治療法などにつき指導している。	山下 拓	山下 拓* 細野 浩史*	6	前期	3 単位	選択必修
131 眼科実習	同じような疾患に対する治療であっても、経過に応じて異なる対応が必要であることや、そのような治療法に応じて生じる問題点などを臨床経験を踏まえて概説する。	庄司 信行	庄司 信行* 後関 利明* 飯島 敬*	6	前期	3 単位	選択必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
132 整形外科実習	机学をふまえ、加えて実際の臨床経験をふまえ整形外科の実務の意義と保存・外科療法について概説する。さらに手術の臨床経験を深くふまえ、手術療法の意義と実際について概説する。	高相 晶士	高相 晶士 * 内山 勝文 * 井上 玄 * 中澤 俊之 * 宮城 正行 * 齋藤 亘 * 福島 健介 * 相川 淳 * 岩瀬 大 * 白澤 栄樹 * 小沼 賢治 * 助川 浩士 *	6	前期	3 単位	選択必修
133 泌尿器科実習	臨床経験を踏まえ実臨床に則したより高次の臨床実習を行う。	岩村 正嗣	岩村 正嗣 * 松本 和将 *	6	前期	3 単位	選択必修
134 皮膚科実習	臨床経験を踏まえ、視診・触診を通して皮膚的的確な表現、適切な問診のとり方を教授し、病棟実習では皮膚科特有の軟膏療法、処置法を学び、患者との接し方を指導する。	天羽 康之	天羽 康之 * 小原 宏哉 * 齋藤 恭子 *	6	前期	3 単位	選択必修
135 精神科実習	臨床経験を踏まえ、精神医学の診断や治療のみならず、多職種連携を含めた理解が深まる実習を行う。	宮岡 等	宮岡 等 * 廣岡 孝陽 * 山本 宏明 (KMC) *	6	前期	3 単位	選択必修
136 麻酔科実習	臨床経験を踏まえ、麻酔科医の担っている全身管理（呼吸・循環・体液・代謝管理、集中治療や急性・慢性疼痛管理）をまず理解し習得できるよう指導する。	岡本 浩嗣	岡本 浩嗣 * 松田 弘美 * 安藤 寿恵 *	6	前期	3 単位	選択必修
137 病理実習	臨床経験を踏まえ、治療方針を決定する上での病理診断の重要性を概説する。	三枝 信・ 村雲芳樹	村雲 芳樹 * 三枝 信 * 梶田 咲美乃 * 秋谷 昌史 *	6	前期	3 単位	選択必修
138 総合診療医学実習	地域診療や在宅診療を実際を体験してもらう。また、病院総合診療医として、内科的なあらゆる徴候に対応できるように外来診療を見学してもらい実際にカルテを書いて、プロブレムリストを立案し、どのように解決していくか検討会を実施して解説している。	青山 直善	青山 直善 *	6	前期	3 単位	選択必修
139 法医学実習	実務経験を基に法医学解剖の方法、死体現象より死後経過時間を導き出す方法、死体検案書の書き方について指導する。	佐藤 文子	佐藤 文子 * 入江 渉 *	6	前期	3 単位	選択必修
140 東洋医学実習	日本東洋医学会認定漢方専門医などとしての臨床経験を踏まえて、漢方治療の実際、鍼灸治療の実際、生薬調剤、生薬管理などについて実習を行う。	小田口 浩	小田口 浩 * 鈴木 邦彦 * 星野 卓之 * 花輪 壽彦 * 伊藤 剛 * 森 裕紀子 * 川鍋 伊晃 * 石毛 達也 * 伊東 秀憲 * 坂田 幸治 * 緒方 千秋 *	6	前期	3 単位	選択必修

実務経験のある教員による授業科目一覧表

[部門：医学部 医学科]

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (*は実務経験者有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
141 臨床実習 (KMC)	実務経験を基に各専門領域について診療参加型臨床実習により指導する。	各単位主任 教授・教育 委員長	塩野 方明 * 佐藤 大輔 * 廣瀬 隆一 * 滝山 容子 * 長場 泰 * 高橋 禎人 * 内藤 正規 * 三木 明德 * 坂東 由紀 * 馬場 香子 * 岡 秀宏 * 近藤 宏治 * 久須美 真理 * 大橋 健太郎 * 佐藤 信之 * 高橋 華子 * 田岡 佳憲 * 南田 諭 * 立花 貴史 *	6	前期	3 単位	選択必修
合計						280 単位	